





ナル泥濘ハ深ク車輪ヲ浸シ雨中ノ引上げ作業ハ長時間トシタル勞カラ  
要シ且宿舍ハ雨漏劇シク不潔不備加フルニ給與設備モ不完全ニシテ充  
分ナル休養ト給與ノ調和ヲ得ルコト能ハズ疲勞推積ノ實狀ニアリテ  
心身相當ノ衰弱ヲ加ヘアリシ體力恢復ノ暇モナク特業修業者トシテ潑  
安ニ給レル工術修業ニ當リ生來潑烈タル氣魄ハ體力ノ減弱モ意ニ介ス  
ルコトナク克苦勉勵セシタノ漸進的ニ其ノ疲勞及ビ衰弱ノ度ヲ加ヘ遂  
ニ諸病ニ對スル抵抗力ヲ減弱本症發病ノ誘因ヲナシタルモノニシテ眞  
ニ公務ニ起因スルモノト認ム

右證明ス

昭和十八年十一月六日

第六十二師團輜重隊長陸軍少佐 杉本秀義  
第六十二師團輜重隊附陸軍軍醫中尉 山本日出臣

證明書

本籍地  
現住所

第六十二師團輜重隊第三中隊

昭和十六年徵集陸軍一等兵眞利年宣

一病

名 外科痔核

一決定年月日 昭和十八年十一月八日

一公務起因 別紙所屬部隊長ノ調製セル事實證明書  
ル、理由 由 明書記載ノ勤務ニ因リ發病セルモノト認ム

右證明ス

昭和十八年十一月八日

第六十二師團野戰病院院長陸軍軍醫中佐堀 江 季 虎





リテ壓痛著明排便時、疼痛及出血ヲ訴フ同月八日痔核ノ手術ニ其ノ所見ニ依リ  
病名ヲ外痔核ト決定ス、手術創ハ經過良好ナリシモ榮養衰退シ全身倦怠下  
腹痛及一日行ノ軟便アリ同月十九日内科病棟ニ轉室セシ所三八五度ヨリ三六度  
台ノ弛張熱繼續シ食思不振盜汗右胸痛等ヲ主訴トシ十二月五日太原陸  
軍病院ニ轉送セラル當時外痔核ハ治癒シヤリタルモ心悸亢進全日倦怠右  
胸痛等ヲ訴ヘ榮養著ク衰退シ右濕性胸膜炎ト認メ諸検査並ニ診療  
ヲ續行セリ昭和十九年一月六日病院長診断ノ結果左肩胛下垂右鎖骨  
上窩ヨリ第四肋間迄抵抗第五肋間以下濁音左鎖骨上窩ヨリ第三肋間抵  
抗第四肋間以下側胸短調兩第一肋間以下胸骨緣短調兩鎖骨上窩ヨリ前  
胸ニ亘リ吸氣鋭利右側胸呼吸音減弱ス又兩肩胛上部ヨリ間部抵抗兩肩胛下  
部瀰漫性濁音特ニ右ニ於テ著明呼吸音左略、正常ナルモ右肩胛下部幽微乃至  
消失ス胸部レントゲン寫眞依リ右胸膜炎ノ外左胸膜肥厚及一部癒着  
ヲ認メ赤血球沈降反應中等價七八〇粘喀痰結核菌陰性以上所見ニ依リ月  
六日右濕性胸膜炎兼左胸膜炎發症ト轉症ナルモノニシテ本病ハ發病

當時外痔核症狀隱蔽セラレアリシモ其ノ消退ト共ニ明瞭トナリシモノト思考  
ス即チ別ハ所屬部隊隊長證明係ル集會教育時ノ影響ニ依リ昭和  
十八年十月七日發病ナルト認ム

右證明人

昭和十九年一月六日

太原陸軍病院長 陸軍軍醫大佐 三浦大三郎

部隊業務主任者ニ於テ一字訂正ス

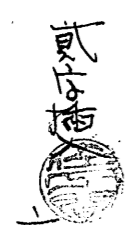


リ予腹痛著し時 腹痛及出... 病名ヲ外痔核ト決定ス手術創... 腹痛及可引行ノ軟便アリ同月十九日... 台ノ肥後... 腹痛及可引行ノ軟便アリ同月十九日... 腹痛及可引行ノ軟便アリ同月十九日... 腹痛及可引行ノ軟便アリ同月十九日...

昭和十九年六月六日病名ヲ右濕性胸膜炎  
兼左胸膜炎及後症ニ轉症ス療法トシテハ專ラ安静ト爲シ栄養ヲ補給増進ニ  
努ムルト共ニ健胃消化劑カルチウム劑肝臟製劑解熱劑ヒタミンB劑等ノ内  
年貳月貳日... 昭和十九年六月六日病名ヲ右濕性胸膜炎  
兼左胸膜炎及後症ニ轉症ス療法トシテハ專ラ安静ト爲シ栄養ヲ補給増進ニ  
努ムルト共ニ健胃消化劑カルチウム劑肝臟製劑解熱劑ヒタミンB劑等ノ内

昭和十九年六月六日病名ヲ右濕性胸膜炎  
兼左胸膜炎及後症ニ轉症ス療法トシテハ專ラ安静ト爲シ栄養ヲ補給増進ニ  
努ムルト共ニ健胃消化劑カルチウム劑肝臟製劑解熱劑ヒタミンB劑等ノ内  
年貳月貳日... 昭和十九年六月六日病名ヲ右濕性胸膜炎  
兼左胸膜炎及後症ニ轉症ス療法トシテハ專ラ安静ト爲シ栄養ヲ補給増進ニ  
努ムルト共ニ健胃消化劑カルチウム劑肝臟製劑解熱劑ヒタミンB劑等ノ内

結核菌陰性ニシテ外痔核既ニ治癒セリ依ツテ昭和十九年六月六日病名ヲ右濕性胸膜炎  
兼左胸膜炎及後症ニ轉症ス療法トシテハ專ラ安静ト爲シ栄養ヲ補給増進ニ  
努ムルト共ニ健胃消化劑カルチウム劑肝臟製劑解熱劑ヒタミンB劑等ノ内  
年貳月貳日... 昭和十九年六月六日病名ヲ右濕性胸膜炎  
兼左胸膜炎及後症ニ轉症ス療法トシテハ專ラ安静ト爲シ栄養ヲ補給増進ニ  
努ムルト共ニ健胃消化劑カルチウム劑肝臟製劑解熱劑ヒタミンB劑等ノ内



六死七年月日 昭和十九年六月六日病名ヲ右濕性胸膜炎  
兼左胸膜炎及後症ニ轉症ス療法トシテハ專ラ安静ト爲シ栄養ヲ補給増進ニ  
努ムルト共ニ健胃消化劑カルチウム劑肝臟製劑解熱劑ヒタミンB劑等ノ内



七死亡ノ場所

中華民國山西省太原陸軍病院

右ノ通ニ候也

昭和拾九年一月廿拾日

太原陸軍病院附陸軍軍醫中尉 佐久間 質

死亡證書

第六十二師團輜重隊第三中隊

陸軍 養

貞利 年宣

右昭和拾八年拾月拾七日中華民國山西省長治縣馬坊頭ニ於テ勤務並ニ教育ニ從事ノ際外痔核ニ罹リ爾後沁縣第六十二師團野戰病院ヲ經テ同年拾貳月貳拾七日來太原陸軍病院ニ於テ加療セシ處右濕性胸膜炎兼左胸膜炎貽後症ニ轉症シ次テ將液膜結核兼腸結核ニ轉症シ遂ニ同症由リ本日午後拾貳時參拾分死ス

太原陸軍病院長 陸軍軍醫大佐 三浦大三郎



七死亡の場所

中華民國山西大同省陽高縣

右ノ通二候也

昭和十九年七月十日

大原野軍醫曹長 野軍醫曹長 三 敵入三 項

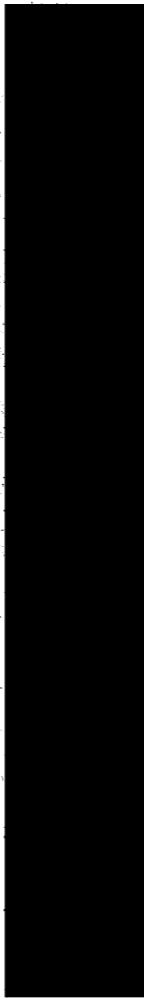
昭和三十九年七月十日

大原野軍醫曹長 野軍醫曹長 三 敵入三 項  
昭和三十九年七月十日

野軍一 曹長 真 利 年 宣  
第六十二師團野軍醫曹長  
昭三

諸給與金證明書

本籍地  
現住所



所屬部隊 第六十二師團輜重隊第三中隊  
官氏名 陸軍上等兵 真利年宣

右者二對女ル昭和十七年一月三十一日陸軍省告示第一  
二號大東亞戰役ニ關ル死歿者特別賜金賜與規定第一  
二條第三項ノ諸給與金ハ支給シテ了レルトテ證明ス

昭和十九年七月十日

第六十二師團輜重隊長

杉本 秀 義



陸軍

石師副人恩第三三七號  
 恩賞關係書類中一訂訂正相感度ノ件通牒  
 昭和十九年十月廿七日 石第一八八二訂隊  
 石第三五九七訂隊御中  
 九月二十日附石給功 第一二八號ニ依ル陸軍上等兵眞利年宣以下二名  
 ニ對スル恩賞書類中左記ノ如キ一訂不備ナル點見受ケラルル  
 ニ付訂正ノ上再提出相成度通牒ス  
 左記  
 一 眞利上等兵 (一)  
 病歴書ノ死亡時刻ハ午後十二時十分トアルモ死亡證書ニハ午後十二時三十分  
 トアリテ一致セズ  
 ニ 石井上等兵  
 事實證明書  
 石井上等兵ノ任表相  
 一月三日石師副人恩第三四六號依リ内記ノ點修正送付  
 死亡證書ニ依レハ概合ニ於テ恩賞者ノ別表ニ記載セラルル

石師副人恩第三三七號  
 恩賞關係書類中一訂訂正相感度ノ件通牒  
 昭和十九年十月廿七日 石第一八八二訂隊  
 石第三五九七訂隊御中  
 九月二十日附石給功 第一二八號ニ依ル陸軍上等兵眞利年宣以下二名  
 ニ對スル恩賞書類中左記ノ如キ一訂不備ナル點見受ケラルル  
 ニ付訂正ノ上再提出相成度通牒ス  
 左記  
 一 眞利上等兵 (一)  
 病歴書ノ死亡時刻ハ午後十二時十分トアルモ死亡證書ニハ午後十二時三十分  
 トアリテ一致セズ  
 ニ 石井上等兵  
 事實證明書  
 石井上等兵ノ任表相  
 一月三日石師副人恩第三四六號依リ内記ノ點修正送付  
 死亡證書ニ依レハ概合ニ於テ恩賞者ノ別表ニ記載セラルル

村	部	任	官	職	階	長	課	長	課	長	課	長

石師副八恩第三三七號

恩賞關係書類中一訂訂正相成度之件通牒

昭和九年十月廿七日

石第一八八二訂隊

石第三五九七訂隊御中

九月二十日附石給 助 第一二八號ニ依ル陸軍上等兵眞利年宣以下二名

ニ對スル恩賞書類中左記ノ如キ一訂不備ナル點見受ケラルル

ニ付訂正ノ上再提出相成度通牒ス

左記

一眞利上等兵

病歴書ノ死亡時刻ハ午後十二時十分トアルモ死亡證書ニハ午後十二時三十分

トアリテ一致セズ

病狀況ニハ輸送業務ニ從事中突然發病セシ如ク記載シアル

モ死亡證書ニ依レハ厩舎ニ於テ厩當番ニ服務中發病セシ如ク記入シアリ

陸軍部  
 石師副八恩第三三七號  
 恩賞關係書類中一訂訂正相成度之件通牒  
 昭和九年十月廿七日  
 石第一八八二訂隊  
 石第三五九七訂隊御中  
 九月二十日附石給 助 第一二八號ニ依ル陸軍上等兵眞利年宣以下二名  
 ニ對スル恩賞書類中左記ノ如キ一訂不備ナル點見受ケラルル  
 ニ付訂正ノ上再提出相成度通牒ス  
 左記  
 一眞利上等兵  
 病歴書ノ死亡時刻ハ午後十二時十分トアルモ死亡證書ニハ午後十二時三十分  
 トアリテ一致セズ  
 病狀況ニハ輸送業務ニ從事中突然發病セシ如ク記載シアル  
 モ死亡證書ニ依レハ厩舎ニ於テ厩當番ニ服務中發病セシ如ク記入シアリ



瀰漫性短調呼吸音胸一般減弱之腹部略平坦柔軟ナルモ左胸骨窩ニ輕度壓痛アリ  
 肝門時ニ時々小指頭大ノ外痔核アリ表面暗赤色ヲ呈シ壓痛著明ニシテ排便  
 時疼痛及出血アリ同月八日切除手術行ハシ病名ヲ外痔核ト決定セラレタリ爾後創  
 ハ約二週間ニシテ治癒セルモ三ノ度餘ニ及ブ日漸潮熱持續シ脈搏軟ニ〇至ヲ算シ  
 右第五肋間以下並ニ同肩胛下部瀰漫性濁音トナリ呼吸音及聲音振動著シ減弱  
 シ乳嚙下部ニ摩擦音ヲ聽取シ左第五肋間以下短調呼吸音稍々減弱摩擦音ヲ聽取シ  
 兩胸膜炎症狀現ハレ同年十月二十七日大原陸軍病院ニ轉入ス  
 當時依然輕熱持續シ營養衰退ニ及ビシ顔貌活氣ナク右鎖骨上窩ヨリ第四肋  
 間迄抵抗アリ第五肋間以下濁音ヲ呈シ左鎖骨上窩ヨリ第三肋間迄抵抗アリ第四  
 肋間以下側胸ニ至リ短調ニシテ兩鎖骨上窩ヨリ前胸ニ至リ吸氣銳利右側胸呼吸音  
 減弱ニ兩肩胛上部ヨリ間部ニ至リ抵抗アリ兩肩胛下部瀰漫性濁音ヲ呈シ特ニ右ニ  
 於テ強ク呼吸音左略正常ナルモ右肩胛下部微弱乃至消失スレントゲン寫眞上右中  
 肺野以下一般ニ暗ニ右肺門影增強ニ向中肺野上部ニ邊縁不明ナル陰影アリ  
 左下肺野胸膜輕度肥厚ヲ認ム赤血球沈降反應中等價セ〇糖促進シ喀痰中

起案用紙

發給 番號	石野利男 227 號	昭和 19 年 10 月 26 日 起案	月	日 發送	淨 發 送 者
醫師	長 參 謀	副 官	部 長	連 帶 者	主 任
宛 名	石野三五九七部隊中隊	發 給 者	石野一八八二部隊		
件 名	恩膏門厚者類中一節おのりおのり沖通牌				
	九月辛日附石輪功第一二八號ニルん院寧上第号兵利				
	半宣以のるを砂を思膏者類中一節おのり				
	一節おのり備一た思思膏をるを付おのり上再提を相				
	右通牌				
	左 記				

一 兵列上等号

症歴書、死時刻、午後十二時十分、死  
死書、牛馬十三時五分、分り、  
三石井上等号

以書、死時刻、午後十二時十分、死  
事、中、牛馬、一、死、七、時、分、  
二、死、一、時、分、  
三、死、一、時、分、  
四、死、一、時、分、  
五、死、一、時、分、  
六、死、一、時、分、  
七、死、一、時、分、  
八、死、一、時、分、  
九、死、一、時、分、  
十、死、一、時、分、  
十一、死、一、時、分、  
十二、死、一、時、分、  
十三、死、一、時、分、  
十四、死、一、時、分、  
十五、死、一、時、分、  
十六、死、一、時、分、  
十七、死、一、時、分、  
十八、死、一、時、分、  
十九、死、一、時、分、  
二十、死、一、時、分、

二 兵列上等号

以書、死時刻、午後十二時十分、死  
死書、牛馬十三時五分、分り、  
三石井上等号